



ニセコ町 議会だより

Niseko Town Council News

速報 (タイトルのみ)

7月22日の第6回臨時会で「前原孝植議員に対する議員辞職勧告決議」が可決されました。

2025.8
No.202

主なトピックス

町政への一般質問 P5-12
時間・件数を制限する規程を整備。より効率的・効果的な質問を!



ピキニニ音楽隊コンサートでの「音楽〇×クイズ」

条例の改正や補正予算など23案件を可決、承認、受理

【5月臨時会・6月定例会】

第4回臨時会が5月28日に、第5回定例会が6月13日から20日までの8日間の会期で開催されました。

臨時会では、専決処分の承認、請負契約の締結、補正予算を審議し、定例会では、報告や専決処分の承認、まちづくり基本条例の改正、補正予算などの審議が行われ、すべて可決（承認）しています。

19日には5名の議員から一般質問が行われました。



起立採決の様子（議案第10号）

PickUP 1

まちづくり基本 条例の改正

〔町の「憲法」を
定期点検〕

まちづくり基本条例の第5次改正が行われました。町は4年を超えない期間ごとに、この条例を点検しています。今回の改正では、民法上の成年年齢が18歳に引き下げられたことにあわせ、青少年及び子どもの参加権の年齢を引き下げました（第11条）。

また、ジェンダーアイデンティティ（左注）の多様性などについて理解を進める法律に関連し、審議会などへの参加で性の平等と多様性に配慮する規定としました（第31条2項）。

（注）自己の属する性別についての認識に関するその同一性の有無又は程度に関する意識

PickUP 2

学校設置 条例の改正

〔新たな高校名を
決定〕

令和8年に全日制、総合学科の新たな高校が誕生します。その学校名が「ニセコ町立ニセコ国際高等学校」となり、学校設置条例に加えます。今の「ニセコ町立北海道ニセコ高等学校（定時制、農業学科）」は、令和10年度まで新たな高校と共に多様な高校教育を支えます。

現在、陸上競技場南側に新寮を建設中とともに、校舎改修に向けた設計を行っています。議会では、今後これら高校改革の取り組みを見守っていきます。

PickUP 3

ゲートボール場 設置条例の廃止

〔町民センター
駐車場を拡張〕

駐車スペース不足が指摘されていたニセコ町民センターの駐車場を拡張します。関係者の意見を聴いたうえで利用されなくなったゲートボール場（町民センター南側）を廃止し、跡地を駐車場として整備します。このためゲートボール場設置条例を廃止します。

なお、駐車場整備工事費の補正予算も同時に提案され、条例と共に可決されました。



町民センターの真裏です

第4回臨時会 審議一覧 (5月28日) 5件

件名	結果	件名	結果
専決処分した事件の承認について (令和6年度一般会計補正予算)	承認	辺地に係る公共的施設の総合整備計画書の一部変更について	原案可決 [全会一致]
専決処分した事件の承認について (令和7年度一般会計補正予算 2件)	承認	ニセコ町まちづくり基本条例の一部を改正する条例	原案可決 [全会一致]
請負契約の締結について(令和7年度町道ニセコミライ通電線共同溝設置工事)	原案可決 [全会一致]	町税条例の一部を改正する条例	原案可決 [全会一致]
令和7年度ニセコ町一般会計補正予算	原案可決 [全会一致]	ニセコ町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 [全会一致]

第5回定例会 審議一覧 (6月13日～20日)18件 (右欄まで)

件名	結果	件名	結果
株式会社キラットニセコ、株式会社ニセコリゾート観光協会、株式会社雪森考舎経営状況の報告	報告受理	ニセコ町議会議員及びニセコ町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 [全会一致]
ニセコ町情報公開条例運用状況の報告	報告受理	非常勤の特別職の職員に対する報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例	原案可決 [全会一致]
令和6年度ニセコ町繰越明許費繰越計算書の報告	報告受理	令和7年度ニセコ町一般会計補正予算 2件	原案可決 討論あり 賛成8反対1 (2件共)
専決処分した事件の承認について(一般会計・国民健康保険会計 補正予算)	承認		
人権擁護委員候補者の推薦について	適任 [全会一致]		

出資法人の経営状況

町が出資する3法人の経営状況について報告がありました。

株式会社キラットニセコ

(駅前温泉「綺羅乃湯」を運営)
令和6年度の事業状況

2年連続で過去最高の入館者数と売上を記録。

入館者数 16万2470人
(対前年比104%)

売上高 9532万円
(対前年比110%)

令和7年度の事業計画
デジタル技術の導入を進め

生産性向上を目指す。安心・安全を前面に出した集客に努める。

株式会社ニセコリゾート観光協会

(観光案内や集客事業、道の駅での物販、ラジオニセコを運営)

令和6年度の事業状況
観光客数は夏季が不調、冬季は訪日外国人を中心に好調

本社事業部売上高 2億5176万円
(対前年比104%)

令和7年度の事業計画

夏季の入込客回復に向け誘客活動に取り組む。ラジオの番組充実と組織強化を進める。

株式会社ニセコ雪森考舎

(森林環境の改善を目指した事業者支援、木材活用事業を展開)

令和6年度の事業状況
森林整備業務や町産材製品の販売、木育イベントや「迷木市」(未利用材の市場)などを実施。

売上高 3316万円
(対前年比118%)

令和7年度の事業計画
管理可能な森林量を増やす、森林整備の保全の手法と体制づくり、事業者育成の環境づくりに取り組む。



ニセコ雪森考舎 大きな加工機材の管理が大変です(令和6年度所管事務調査にて見学)

熱エネルギー調査委託、農産物付加価値向上事業、ニセコ町民センター駐車場整備、定額減税調整給付金などを可決

【第4回臨時会・第5回定例会】

令和7年度の一般会計補正予算として、第4回臨時会では2件の専決処分を含む1億6786万円の増額、第5回定例会では8237万円の増額や債務負担について審議し、可決しました。

また、令和6年度の一般会計及び国民健康保険事業特別会計について、収支を整理する最終の補正予算も審議し、可決しました。令和6年度は町税や地方交付税の収入が伸びたことから、町の基金（貯金）への積み立てを増やしています。

会計区分	令和7年度当初予算額	令和7年度補正後予算額
一 般	104億7,000万円	107億2,977万円
国民健康保険事業	2億1,200万円	同 左
後期高齢者医療	7,580万円	同 左
簡易水道事業	11億6,654万円	同 左
公共下水道事業	3億5,576万円	同 左

主な補正予算

令和6年度一般会計
(最終の専決処分)

【歳入】
町税 1億6009万3千円
町民税、固定資産税、宿泊税などで伸び

地方交付税 2億8637万8千円
各種事業の財源となる特別交付税の増

繰入金（減額） △1億7966万2千円
各種の基金（貯金）からの取り崩しの減

町債（減額） △8億4758万9千円
消防庁舎建設など次年度持ち越し分の減

【歳出】
基金積立金 4億1173万6千円
各種の基金（貯金）に積み立て

消防庁舎建設工事 (減額) △5億5402万7千円
次年度へ工事の一部を持ち越し

令和7年度一般会計 (臨時会)

【歳入】
国庫補助金 1億3115万5千円
エネルギー構造高度化等補助金として熱エネルギー調査事業に充当

【歳出】
公共施設管理委託料 293万1千円
ニセコ高校の農場管理と実習補助を委託

町道等災害復旧委託料 334万2千円
4月14日発生の大雨災害被災箇所への復旧

熱エネルギーポテンシャル調査委託料 1億3500万円
温泉熱とヒートポンプレベルの地中熱の活用を想定した調査

農産物販売促進対策事業補助 604万4千円
農家と販売をつなぐ連携事業について新設された協議会に補助

商工観光魅力アップ事業補助 200万円
2件の新規事業提案

令和7年度一般会計 (定例会)

【歳入】
道補助金（農地利用効率化） 1270万1千円
町の補助事業に充当

国庫補助金 (重点支援交付金) 2212万3千円
減税調整給付等に充当

【歳出】
町民センター駐車場整備工事 1441万円
ゲートボール場を廃止して駐車場を拡張

農地利用効率化支援補助金 1270万1千円
2経営体への間接補助

臨時特別給付金 1600万円
定額減税調整給付の不

物価高騰対応子育て支援補助金 472万円
子育て世帯へ綺麗ポイントを増額付与

公営住宅営繕工事 716万5千円
雪害や退去等での修繕

堆肥センター修繕工事 412万円
機械、シャッターの修繕

その議案や補正 予算に質問！

補正予算【熱エネルギーポテンシャル調査業務委託】

齊藤議員 熱エネルギーに特化した調査を行う理由は何か、調査地はどこか。調査には専門性が必要ではないか。

企画環境課長 第一に寒冷地であること、第二に過去の調査実績を勘案したこと、これらの理由により市街地でヒートポンプなどの地中熱2か所以上、温泉熱1か所以上の調査を行いたい。専門機関からのアドバイスも受けたい。

高木議員 調査結果の活用について、公共施設以外の発展性を想定しているか。

副町長 例えばSDGs街区についても、今後の調査活用の対象となり得る。

町長 今回の調査は、国へ補助金を申請し認められた金額の範囲内で有効に実施したい。熱エネルギーの利用はCO2排出量削減にも貢献する。幅広い視野で調査したい。

補正予算【農産物販売促進対策事業補助】

小松議員 この補助対象事業である農観連携施策「ベジビク」の継続実施に向け、昨年度の事業をどう評価し、また課題をどう捉えるか。

農政課参事 昨年度は20代から30代の若い方々にグリーンシーズンに来てもらい、どう野菜を食べてもらえるかを目標とした。特に女性を主なターゲットに情報発信し、それが届き購入につながったところが良かった。満足度、再来訪意向共に90%以上、販売も目標値に達した。参加店舗を増やし、取り組みを定着させることが課題である。

補正予算【商工観光魅力アップ事業補助】

木下議員 どのような事業提案があったのか。

商工観光課長 アンヌプリエリアを周遊するスタンプラリーと、ニセコエリアの食に関する連携イベントの2件の提案を受けている。

報告【株式会社ニセコ雪森考舎の経営状況】

前原議員 当期利益増加の要因、木材活用サポート及び林業機械レンタル事業の状況、今後の設備投資の見直しは。

農政課参事 営業に力を入れ、事業者の協力も得たおかげで売上増となった。また、人材が集まらず、予定の人員費を使わず今回の利益となった。事業については町内で木材活用が進み、機械リースの長期利用も多い。設備投資については次の事務所の場所を検討中。製材については別の賃借地に移していきたい。

高木議員 「迷木市（めいぼくいち）」はソフト面を組み合わせた事業だが、さらに付加価値をつけ一品物で加工販売するなど事業を発展させてはどうか。一方、人材不足や事務所環境の問題についてはどのように対処していくか。

農政課参事 事業に加工事業者を招へいするなど工夫し、人材確保については町と連携して採用にあたりたい。また、今は事務所にお金をかけるのではないが、採用とあわせて

職場環境の充実も考えたい。

補正予算

【道の駅宮繕工事】

大野議員 中庭の荒れた芝生は通り道のため管理が難しいが、どのように再生するのか。

商工観光課長 検討した結果10平米程度を芝からインターロッキングに替える。観光客に配慮して工事を進めたい。

補正予算

【公営住宅宮繕工事】

篠原議員 住宅修繕は入居者に責があるか否かで修繕費の負担者が変わると思うが、今回はどのような修繕内容か。

都市建設課長 居住年数が短い場合は経年劣化かそうでないかが分かるが、今回の退去による修繕は入居期間が長い部屋。このため町負担で全面的に補修する。

篠原議員 居住の長短で修繕費負担に差が出るのはいかがなものか。公平性の観点からある程度のタイミングで入居者へ住宅の使用についてお知らせやお願ひすることも必要。

副町長 修繕については、敷

金で対応するものや本人負担を求めていくものなどについて検討していきたい。また、将来の修繕のための積立といった方法も考えていきたい。

補正予算【堆肥センター修繕工事】

高木議員 度々修繕しているが、今後の維持の方針は。堆肥づくりを含めた施設の方向性を定めるべきではないか。

農政課長 今後3年間は管理を続け、その間に次の方向性を見出していきたい。

発議の審議結果

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

産業建設常任委員会へ付託された発議第4号は、可決すべきとする委員会報告のとおり議決しました。

地方自治法の規定に基づき、関係大臣、関係機関に意見書を送付しました。

議員の日常活動と調査、住民の声や自身の考えをもとに町長・教育長に方針を問います。
要約文章・掲載写真は各議員が編集をしています。

町政を問う！

一 般 質 問

YouTube 録画配信中！



一般質問は6月19日に行われました。
YouTubeトップの説明文章に議員名と時間を記入しています。時間をクリックしていただくと各質問のトップに移動します。
YouTube映像及び音声の著作権はニセコ町議会に帰属しています。法令上で認められた場合を除き、無断で映像や音声の切り抜きや転載はできません。

p 06 小松 弘幸 議員

- ・町長選挙について
- ・地域割について

p 07 斉藤 うめ子 議員

- ・学校教育の中にボランティア活動への積極的な参加について
- ・蘭越倶知安道路（ニセコ～倶知安）ルートに関する決定プロセスを質す

p 08-09 高木 直良 議員

- ・ニセコ高校農業関連施設の活用方針について
- ・宿泊税使途として道路改良に充てる可能性について
- ・後志自動車道計画への町の対応について

p 09-11 前原 孝植 議員

- ・ニセコ高校でのパワハラセクハラについて
- ・令和6年度10月の元職員の公益通報について
- ・片山町長の3月定例会一般質問以降の発言について
- ・第231回ニセコ町まちづくり町民講座について
- ・ニセコモデルGOに関する現状報告と今後の対応

p 12 高瀬 浩樹 議員

- ・ニセコ町の観光と現状について

質問時間と件数を制限



円滑かつ能率的、効果的な一般質問を行うため、6月定例会から時間と件数を制限し、一人あたり60分以内（答弁も含む）、件数は5件以内とします。
一般質問は行政の事業に対するチェックと改善を促すための重要な手段なので、議員は質問内容をあらかじめ調査し明確にして、自論や事柄説明等はできるだけ避け、簡潔に発言しなければなりません。それにより執行部側の答弁も簡潔になり、かみ合わない議論も減って、建設的な質疑応答につながると考えられます。



小松 弘幸 議員

Q 現町長として次期に向けての所信は

A 7月中の早い時期に所信を明らかにする

Q 任期満了に伴う町長選挙まであと数か月となった。新消防庁舎やニセコ高校寄宿舎建設、新団地整備など大きな事業が執行されている。

また、学校給食費無料化試行や子育て教育環境の拡充そして水道施設拡張と設備更新事業などまだまだ手放さなければならぬ事業がたくさんある。現町長として次期に向けての所信を伺う。

A町長 現在町政において進行中の事業も多くある。また、解決すべき課題も日々生じている。

ニセコ町の将来に向けてどのようなありようが良いかを俯瞰しながら、総合的に判断し、7月中の早い時期に所信を明らかにしたい。

令和7年度はいまだかつてない100億円を超える大きな予算規模となり、今後の財政運営を町民が注視している。現町長の立場から町の舵取り役として次期町長にふさわしい後継者をどのように考えているのか。

A町長 財政危機突破計画をつくった当時から見ると、議会議員や

投票に行こう！



町民の皆さんの応援を得て、財政状況が極めて好転している。将来に向けて安定した財政の基盤が、皆さんのおかげでより確立された。ただ、次への交代も必要なので、総合的に考え最終的に決断したい。

Q ニセコらしい地域割を検討できないか

小松 弘幸 議員

A 今後は町全域での地域割を検討する

Q ニセコ地域の法外な値段が話題となりニセコ価格とも呼ばれ、SNSなどで町にとつてマイナスイメージに陥った。このマイナス要因を払拭するためにもニセコらしい地域割を検討できないか。

昇が見られ、マスコミなどの宣伝により現在ではニセコ町全体の物価が高いとの誤解を受け、一部の日本人観光客から敬遠されている。観光エリアでの価格高騰が地域住民のレジヤールや暮らしに影響を少なくする対策が必要。

が食事や宿泊などをお得に利用できるように割引を実施している。グルメスポットや施設をまとめて紹介する情報が得られる仕組みづくりが重要だ。行政が音頭をとり地域割を本格的に導入すべき。



ニセコ町で楽しもう！(町民向け割引・特典情報) ※随時更新中

ニセコ町ホームページより



昨シーズンはリフト券やレストランでの町民割引、イベント時の町民割があった。今年度もアクティブティや日帰り温泉などの町民割が行われている。今後は町全域での地域割を検討する。ニセココレクションは期間限定で後志エリアに広げたローカル割も実施し、事業者の意向によつて対象範囲を広げることも可能。



斉藤 うめ子 議員

Q ボランティアの本質を理解するための研修を

A 大変重要なことなのでボランティア養成を検討したい

Q 「さわやか福祉財団」の創設者堀田力さんは青少年のボランティア活動の意義は「自分を発見すること」、無限の可能性、将来何をしたいのか、人生の基礎をつくるもの」と述べている。町内の児童生徒のボランティア活動への参加状況は。

A 教育長 各学校で学習指導要領等に基づき、道徳や総合的な学習の時間、特別活動等で学んだり体験したりしている。

参加状況は小学校では清掃活動やコミュニケーションセンターの花壇造



生活の家 春のそよかぜバザー
「国際交流員、職員の方々ありがとうございます」

成、中学校は七夕の夕べ花火大会の企画運営等、教育課程の中で全ての児童生徒が参加している。高校では清掃やマラソンフェスティバル運営サポートなど様々な活動に取り組んでいる。学校外においても町内会活動やお祭りへの参加、イベント運営に取り組む活躍しているが、人数は押さえていない。

Q 6月1日綺羅街道の植栽があった。この綺羅街道整備までの歴史はまさに沿道の住民のシビックプライドの象徴的存在。この植栽

に児童生徒の参加を見かけたことがない。町職員の皆さんもプライドをもって参加していただきたい。また、「ニセコ生活の家」のバザーにも近年全く児童生徒の姿が見られない。この障がい者施設がどんなところか、ぜひ見に来ていただきたい。

ボランティアとは何か、初心に立ち返ってその精神を理解することが大切と思う。堀田力さんはボランティアの人口を日本の一割に相当する1200万人を目標にしていた。ニセコ町の人口の約一割

Q ニセコ倶知安間のルート変更は今後あり得るか

斉藤 うめ子 議員

A 今回の提示内容について地域の意見を提言していきたい

Q 去る5月30日、ニセコ倶知安間11・7kmの高規格道路の事業計画説明会が行われた。小樽開発建設部は町民からの意見は聞いていない、ルート変更の要望は出ていない、町はルートに賛成していないと、三者間の意見や対応は「藪の中」の感がある。町長はルート変更を小樽開発建設部に伝えたのか。

A 町長 事業化前に小樽開発建設部から関係団体へのヒアリング及び沿線8自治体の住民へのアンケート調査を実施し、結果は北海道開発局のホームページで詳細が公表されている。町としては特段の変更要望は行っていない。今後小樽開発建設部からの情報提供をもとに町主催の勉強会を開催し、町民の不安や懸念を解消しつつ地域の声をまとめていきたい。

Q 町としてはまだルート検討の可能性があるということか。

A 町長 開発局が今回提示した内容において、地域住民の意見を伝えていきたい。

Q 有島の歴史遺産、学校、住宅街、道の駅のスペースを勘案し、ルート変更もあり得るのか。

A 町長 現状の道の駅は国交大臣から重点道の駅、防災道の駅の二つの認定を受けており、将来的には国道5号線、岩内洞爺湖線、高速道路の三つが利用できることが望ましいので、私たちの意見を取りまとめて提言していきたい。



高木 直良 議員

Q ニセコ高校農業施設を今後も活用を

A 培ったノウハウを含め早急に検討する



ニセコ高校の温室ビニールハウス

Q ニセコ高校の授業等で活用している温室、ビニールハウス、畑地、機械器具等の総合学科、全日制への移行後の管理方法と授業や部活での活用について伺う。

A 教育長 施設・設備は畑約20^ア、地中熱ヒートポンプのエアハウス、倉庫5棟、トラック、トラクターなどだが、いずれも老朽化している。農業学科4年生がいる場合のR10年度末までは総合学科の活動も十分考慮し、維持管理を継続して行く。

Q 新カリキュラムには、生物や産業、環境エネルギーなどがあり、農業施設を有効に活かせる。部活もありうる。予算の充実も必要ではないか。

A 教育長 環境モデル都市教育をベースに、地域人材活用で、ニセコと森林、発酵と科学、農業に関わる部分検討している。今年度予算では農業実習助手人件費や施設の維持管理に1400万円計上している。費用対効果を含め、十分に活用できるものは活用する方向で検討していきたい。

Q 諸設備を町民ボランティアの活動や生徒との交流の場にする可能性も検討すべきではないか。愛好家が綺麗に街道植栽用苗づくりをすることも考えられる。活用のアイデアをパブリックコメントなどで広く町民からも集めてはどうか。

A 教育長 施設管理の人材が意外にいない中で、ご指摘のようにボランティアで農地を活用することは、今後十分考えていきたい。交流の場としての活用についても検討したい。

Q 宿泊税による「道路改良」は可能か

高木 直良 議員

A 個別のケースに対応し熟度を上げて行く

Q 宿泊税使途の具体化が課題となっている。宿泊者や観光事業者、周辺住民の環境改善に資するものとして、要望がある以下二点のケースについて使用可能と考えるがいかがか。

① 定住住民は少ないが、近年新規宿泊施設（貸別荘やコンドミニアム）が増加しているエリアの砂利道の管理費助成または簡易舗装の実施助成。私道だが舗装された町道と林道に接続しており、観光地図にも記載されている。

A 町長 使途は当初から地域内交通の充実、地球環境負荷の軽減など宿泊事業者、町民の意見交換を踏まえ、観光審議会の議論により活用方針を検討してきている。

このケースは宿泊税よりは、辺地に該当する地区だと思つので、辺地計画に載せて、その場合は8割ほどがいわゆるな事業費に充当できるので、対象になるのか個別に相談させていたきたい。

Q ②のケースはスキー場のバス停アクセス

道路入り口部分のロードヒーティング改修だ。この個所でスリップ事故が起きている。事故防止や渋滞防止のために、必要ではないか。

A 町長 スキーバスの停車場のアクセス部分でのスリップ事故の防止、一時的な渋滞防止のためのロードヒーティング、これは当然宿泊客を含めた質の向上ということなので、まさに宿泊税の趣旨に合致するのではないかと思つ。



管理が難しい砂利道

自動車道—住民要望 に基き早急な対応を

高木 直良 議員

Q

Q 5月30日、小樽開発建設部が行った「道路中心線」説明会について、町としてはどのように受け止めているか。

A

住民意見も聞き開発局に具申していく

A町長 第2回目の説明会としてより具体的に通過位置が分かる道路中心線が示され、町民の理解や協力を得ていく有意義な場であった。速やかな調査着手を望む。

Q 今後の調査は橋の形態や基礎などの道路構造の設計に入るといふことで、ルート変更は想定していない。その後土地を買収するための測量へと進んでいく。



公表された自動車道のルート

町民からの意見・要望は今からほとんど聞いて、不安なことを整理して、開発部と速やかにやりとりをすべきだ。設計で決まってきたらでは何もできない。町はその認識のもとに住民との懇談や勉強会にかからなければいけない。

住民の皆さんの意見も聞きながら、開発局に真摯に意見を具申していくという作業を始めていきたいと考えている。

河川法も道路法も基本的には昔と違っていろんな住民の意見も含めて対応しなさいとうたっており、それを踏まえながら、適正な道路になるように意見調整をしながら進めてまわりたいと考えている。



前原 孝植 議員

A

個人情報のため内容説明は不可

Q

高校でのハラスメント事実確認は

Q 令和6年12月頃、ニセコ高校で教員間にパワハラやセクハラがあったと聞いた。具体的な事実や対応策、他教員への周知方法と再発防止の具体策を詳しく説明してほしい。

A 教育長 教職員から校長を通じて教育委員会に相談があり、町教委のハラスメント防止等に関する指針に基づいて適切に対応した。職員会議等でハラスメント禁止を徹底指導し、服務規律に関する指導や校内研修の実施状況も確認しながら再発防止を進めている。

具体的な事実内容や関係者については個人情報保護のため公表できない。

Q パワハラとセクハラの間が違ったのか明確にしてほしい。具体的な事実を伏せたままだと、再発防止や職場環境改善には役立たない。他の教員にも通達したのかも確認したい。事実の公表なくして教職員の信頼回復や職場環境改善は困難だと思ふ。

A 総合教育課長 関係者から聞き取りを行い、適切な対応を済ませている。具体的な相談内容やハラスメントの有無自体も個人特定やプライバシーが侵害される恐れがあるため説明できない。他教員には職員会議等で改めて周知した。

Q ハラスメントがあったかどうかの一点だけは明確に答えてほしい。

A 総合教育課長 個人特定を避けるため、回答できないことをご理解願いたい。

元職員公益通報の事実確認は

前原 孝植 議員

Q

Q 令和6年10月の公益通報による総務課長の不適切行為について質問する。

A

個人情報なので答弁は控える

具体的には、通報の書面に列挙された指摘は事実か。

A町長 この件は前回の一般質問で回答済み。個人情報保護の観点から具体的な答弁はできない。

Q 先ほどのセクハラ・パワハラ問題と同様に答弁拒否か。改めて明確な説明を求める。
A町長 答弁拒否ではなく、議員の質問自体が議員の立場を利用した名誉毀損にあたるため、個人情報および情報公開条例上の観点から回答を控える。



A副町長 個人情報ということで、ニセコ町情報公開条例第6条と第7条に該当し、公開できないという判断をした。

町長が指摘する反社会的行動とは

前原 孝植 議員

Q

職員脅迫や利益誘導の行為など

A

Q 町長は3月の一般質問の際に反問権で私に対し「反社会的行動を続けるのか」と発言したが、その具体的な行動とは何か。「利益誘導の取引提案」とも言われたが具体的には何を指しているのか。
また、確執解消のため面会を求めたら「脅しには屈しない」と拒否された。その真意を説明してほしい。
A町長 職員への威圧・暴言・脅迫、SNSによる偽りの情報拡散等が反社会的行為、町関連会社への役員推薦要求等が利益誘導にあたる。多くの職員が萎縮し、職場環境も悪化し業務妨害である。

Q 町長の言うことは事実誤認で名誉毀損だ。具体的に私が推薦した役員とは誰で、要求した金額はいくらか、虚偽情報とは何か。私はそんなSNS発信をした覚えはないし、自分がリスクを負うことをするはずがない。議場では時間がなかったため、町長に議場外での話し合いを求めているだけ。
A町長 お会いしたらSNSに全く架空の話を出される。だから、私はこういう議会の場みんなが見える形の中でお話をさせていたいただきたい。

Q システム協議会の会長が町長であることが町民に疑念を抱かせる、そこに1億3千万円のお金が流れている。コンプライアンス的にお聞きしてる。実際、協議会へのお金の8割が同じビル内の上部会社を支払われており、従業員5名中システム管理者1名、年間3千万円も維持費にかかっている。町民の不信解消のためにも説明すべきだ。
議会の中だけでは時間が足りない。だから膝を突き合わせて1時間だけでも時間をくれないかとお願いしている。
A町長 今後SNSにアップしない、事実以外のことはやらないと約束してくれるのならお会いする。よくご検討いただきたい。



町民講座資料転載禁止の理由は

前原 孝植 議員

Q

町民講座資料がただ転載禁止とされた理由は何か。

実質公債比率についても「令和5年度4.2%」を大きく、「今後13〜14%へ上昇」を小さく記載した意図を問う。北見市は12.4%で財政危機に陥っている。ニセコ町が13.14%になる年の返済額・利子額は。

A町長 資料は町民講座という対話の場で作成されたもので、お伝えする方に誤解を招かないよう町の責任のもとに管理している。加工リスク防止のため、

A

誤解防止のため、二次利用を禁止

2次利用は認めない判断となった。記載の文字の大小に特別な意図はない。

返済額ピークは令和14年度で、元金約11億円、利子8500万円、合計約11.8億円。交付税補填により町の実負担は約5.3億円と推定。

Q 公資料の転載禁止を議員個人に課す権限はどこにあるのか。公務員が透かしを入れるのもおかしい。

Aまた、比率13.14%記載は私の質問で追加したはず。令和14年のピーク時の返済額が示されたが、回答がずれていないか。ニセコ町が北見市並みの高い比率になること自体問題。A企画環境課参事 町が意図していない形での情報伝達や受け手に対し誤解等が生じる可能性をできるだけ排除するという町の判断。

資料は限られた時間で準備する過程で、既に財政や広報で持っている図表を活用し作成した。その際図表として成立している数字が令和5年度までで、それ以降はリード文を入れることになった。作業背景の都合で、故意に小さい文字にしたわけではない。

A町長 比率記載は議員指摘ではなく、町が常にシミュレーションして公表している。ピーク時以降も交付税が入るので財政に負担をかける金額ではない。また、北見市等とは財政構造が異なる。単純に公債費比率の数字だけでいい悪いは判断できない。

Q 元金、利子が増えた分、どこを削るのか。A町長 減債基金で対応し、福祉や教育から削ることはない。

資料は限られた時間で準備する過程で、既に財政や広報で持っている図表を活用し作成した。その際図表として成立している数字が令和5年度までで、それ以降はリード文を入れることになった。作業背景の都合で、故意に小さい文字にしたわけではない。

ニセコGOの事故現状と対応は

前原 孝植 議員

Q

A

安全確保し、周知方法を検討する

Q ニセコGOは令和5年度10件、6年度8件の事故があり、安全を最優先すべき。町民が安心して利用するために事故件数など安全管理状況を継続的に周知すべきと考えるが町長の見解を伺う。

A町長 交通安全は重要課題で、GO社やハイヤー協会と安全意識を共有している。事故は「もらい事故」が多く、事業側の過失による重大事故や人身事故はない。事故情報の町民への周知方法は関係機関と調整・検討が必要だ。

Q 議員「もらい事故がほとんど」との答弁だが、ニセコ町でそんなに多発すること自体疑問だ。町民が事故件数を知らない、町民側が巻き込まれたときの責任の所在が曖昧になる。今後人身事故が起こる可能性もあり、より一層の安全配慮と情報開示を求める。また東京から来るドライバーの雪道運転や、初年度二駆のタクシー導入など、安全面で不安が残る対応があった。次年度から改善できないか。

A企画環境課長 今年度8件のうち、タクシー側への接触が6件、すれ違い時の事故が2件。東京のドライバーも運転免許の国家資格を有しており、安全配慮は当然行っている。事故件数の情報公表については、他の一般タクシーと比較して特別扱いすることへの業者側の懸念もあるため、周知方法は今後慎重に協議したい。





高瀬 浩樹 議員

Q ニセコ町の観光について

A 若者から支持される地域を目指したい

Q ニセコ町は通年型リゾートとして、一年を通じての観光客の季節の変動を克服しつつあるように思われているが、客数をみると冬季以外の宿泊客は少ないとのこと。宿泊施設は、従業員を通年で雇用するのに苦労している現状にある。

「持続可能な国際リゾート」を目指して、ニセコの四季の魅力を多方面にPRする策や滞在しゆっくりニセコを堪能するプランを練るための企画調整などが必要と思われるが、いかがお考えか。



ワイナリーの視察とランチ会

A 町長 信頼できる観光地として他地域との差別化をはかり、観光産業が魅力的な職場として若者から支持されるような地域を目指していきたい。季節に左右されない温泉の特別ウエブサイトのオープンやインスタグラマーの活用、温泉キャンペーンなどを行っている。環境に配慮したアクティビティなど、ニセコらしい旅の推進を進めている。

A 町長 信頼できる観光地として他地域との差別化をはかり、観光産業が魅力的な職場として若者から支持されるような地域を目指していきたい。季節に左右されない温泉の特別ウエブサイトのオープンやインスタグラマーの活用、温泉キャンペーンなどを行っている。環境に配慮したアクティビティなど、ニセコらしい旅の推進を進めている。

ことにもつながっていきたく思っているので、今後宿泊できるプランニングをしていきたい。

Q ニセコは高いというイメージで思われているが、リゾート観光協会の協力を得て改善を試みるのはいかがでしょうか。

A 町長 ニセコの物価高は誤解がないよう、情報発信の仕組みなど工夫し、強化を図っていききたい。

前原議員の一般質問「令和6年10月の元職員の公益通報について(10ページ上段)」に対し、反問権が行使されました。以下、その主要内容について要約してお知らせします。

Q 総務課長 議員が今年の1月15日に事務室に来て、私を威圧する目的で個人情報を含む「通報文書」を置いて行ったが、通報者の保護の観点から法の趣旨に反している。

A 元職員は退職後に個人情報を含む書類を流布したが個人情報保護法や情報公開条例に抵触し、内部情報漏えいで地方公務員法に抵触する。また、虚偽の内容を含んだ通報で軽犯罪法にも抵触する恐れ

がある。コンプライアンスを遵守すべき議員として問題だ。

エビデンスもはっきりしていない内容を公の場で発言することは倫理上も問題だ。通報内容は5W1Hやエビデンスがないため、一般的に公益通報や内部通報として認められない。

A 前原議員 副町長が議事録の開示はできないと言いつつ、透明性がないので追及をしている。



議事を傍聴しませんか

～次回定例会は9月上旬です～

議会では「定例会(年4回/会期1週間程度)」「臨時会(随時/会期1日程度)」を開催しています。

傍聴を希望される方は会議の開催日などをニセコ町のホームページでご確認いただき、ニセコ町役場3階の町民ホールへお越しください。1階の展示ホールのテレビでも中継ライブを見ることができます

第5回定例会 行政報告・教育行政報告

(一部抜粋)

片山町長

町立高校（ニセコ高校）の振興について協議

北海道町村立高等学校自治体連絡協議会の総会に出席。町立高校の振興策について意見交換しました。高校の体育館や校舎の工事を行う際に過疎債（有利な借金）の利用認定を受けられることになったのは、この協議会による要請活動の結果です。

ニセコハートラボによるオフイシャルパートナー協定を締結

4月24日にデロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社と協定を締結。関係人口の拡大を目的とした教育プログラムの企画運営など、同社と連携したまちづくりを進めます。



北海道観光局と宿泊税について意見交換

道の宿泊税準備状況や市町村との連携に関する意見交換を行いました。道へ多くの要請をしていますが意見を聴いてもらえない状況です。引き続き道にいろいろな意見を述べていきたいと考えています。

デジタルノマド官民推進協議会で勉強会を開催

デジタルノマドについて、私どもが提案し国の法律として昨年から動いております。在留を1年あるいはもう少し先に延ばすように、今後制度設計を含め官民連携して運動を進めたいと考えています。

デジタルノマド

IT技術を活用し場所に縛られずノマド(游牧民)のように仕事をする人

こうした知識人材の誘致が現在世界で行われています。

俱知安厚生病院第2期整備推進協議会幹事会の状況

俱知安厚生病院第2期整備の事業費が増嵩しているとのこと。新たな負担を含めた各自自治体の負担割合を最終案として提示したいとの話があり、今後協議会で具体的な提案を受け審議する予定です。

低所得世帯物価高騰対策給付金の状況

1世帯3万円、子ども1人2万円を加算して給付する事業について、5月末現在で545世帯、1745万円の給付実績となっています。

ネパール国との連携を協議

5月13日にネパール大使館を訪問しました。ネパールの方々によりニセコの雇用不足を補う可能性があるかどうか、今後検討しながら連携できるところを進めていきます。

カーシェアリング実証事業の実施状況

町内2か所に車を置いて事業を進めています。ニセコに長期滞在した人からも町内に宿泊した理由として、このカーシェアリングを知って1週間滞在したということです。この事業の価値が相当あると考えていますので、今後とも活用に努めます。

インフラメンテナンス市町村長会議全国大会に参加

国道・道道・町道などのインフラについて、維持補修の経費が伸びていません。道路の亀裂や穴だけでも温暖化の影響で非常に増えています。これらを町単独で補修するだけでなく、緊急自然災害防止対策事業債といった国の有利な制度で応援してくれる環境ができました。こうした支援を継続してもらえよう要請活動を行っています。

片岡教育長

ニセコ高校新入生徒の状況

今年度は25市区町村の31中学校から42人が合格しました。これに伴い1年生20人を含む50人が寄宿舎に入寮しています。

ニセコワールドビレッジ開村式

関係備品が整備され4月26日にニセコワールドビレッジがニセコ高校内に開村し、そのオープニングセレモニーを実施しました。プレゼンテーションやオンラインでの交流を行っています。

ニセコ町体育協会表彰

スポーツ栄誉賞3名、最優秀スポーツ選手賞1名、優秀スポーツ選手賞7名など計29名、4団体が受賞。昨年に比べ多くの子どもたちが表彰に値する成果を挙げ、大変うれしい状況です。

5月
 7日 後志総合開発期成会定期総会
 （倶知安町／議長出席）
 8日 全員協議会
 9日 議会だより編集委員会
 16日 ニセコ町商工会通常総会
 （議長出席）
 18日 東京ニセコ会
 （東京都／副議長出席）
 25日 ニセコ町運動公園開幕スポーツ大会
 26日 後志総合開発期成会後志要望（小樽市ほか／議長出席）



6月
 3日 議会運営委員会
 5・6日 後志総合開発期成会中央要望
 10日 北海道町村議会議長会定期総会・研修ほか
 （札幌市／正副議長出席）
 13日 第5回定例会
 22日 議会運営委員会
 産業建設常任委員会
 倶知安駐屯地創立70周年記念式典
 （倶知安町／議長）
 24日 ニセコ町消防演習
 （9名出席）
 30・7月2日 市町村議会議員研修
 （滋賀県／斉藤議員）
 7月
 2・3・10・11日 総務所管事務調査
 議会運営委員会
 北海道町村議会議員研修
 （札幌市／8名参加）
 7日 議会運営委員会
 8日 北海道町村議会議員研修
 （札幌市／8名参加）

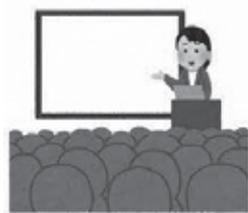
14日 後志町村議会議員研修・交流会
 （留寿都村／7名参加）
 15日 全員協議会
 議会だより編集委員会
 戦没者追悼式
 （議長出席）
 1916日 全員協議会
 議会だより編集委員会
 戦没者追悼式
 （議長出席）



「地方議会における議員の多彩化に向けて
 ～地域社会の「鏡」としての議会を考える」

西南学院大学法学部 勢一智子 教授

人口減少社会に移行していく中で、地域が地域固有の諸課題に向き合っていくとき、多様な民意を反映する地方議会の役割が一層期待される。多様な人が議員になって地域を変えていきたいと思えるよう、雇用の柔軟性など社会全体の変革が必要。



「人口減少社会を生き抜くために」

人口戦略会議 副議長 増田寛也 氏

少子化や東京一極集中が続くなか、その現状を受け止め、地方議会や町村業務の役割の見直しを行い、中身の濃い取組み（適応策）の課題を提起しなければならない。たとえば、政府関係機関の地方移転や企業・大学の地方分散など、人材の交流・循環・結びつきの促進といった人の流れの創出を目指さなければならない。



北海道町村議会議員研修に参加しました
 7月8日に札幌コンベンションセンターにて全道の町村議会議員向けの研修が行われ、8名で参加してきました。

町民活動紹介 No.21

NPO法人ニセコまちづくりフォーラム

NPO法人ニセコまちづくりフォーラムは、平成13年(2001年)に発足し、地域の皆様のご協力のもと、ニセコ町の景観づくりに取り組んでまいりました。主な活動は、町の玄関口「綺羅街道」の植栽事業で、春から夏にかけて花壇を整備し、道行く人々に四季の彩りとやすらぎをお届けしています。また、道路沿いの電杆にハンギングバスケットを設置するなど、より持続可能な植栽も目指しています。

この活動も25年目を迎え、今ではニセコの風物詩として親しまれ、訪れる方々からも「毎年楽しみにしている」といった嬉しい声をいただいています。これからも花を通じて笑顔と潤いのあるまちづくりを続けてまいりますので、温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



ハンギングバスケット設置作業



綺羅街道植栽事業



最前列でリズムをとる子たち

6月29日、10年目を迎えるピキニ音楽隊によるコンサートが、恒例となった中央倉庫群旧デンブン工場で行われた。今回は学校でも良く聞かれるおなじみの曲のオンパレード。参加者の多くは親子、家族での参加で、小さな子も手拍子でリズムをとっていた。一部と二部の間の休憩タイムには、音楽に関する〇×クイズが出され、正解の多い子にはお菓子のプレゼントも。ピアノ、バイオリン、フルートにボーカルが加わり、楽曲に親しみを感じるコンサートだった。

表紙紹介

編集後記

議会HPIは
こちらから
ご覧になれます



議会だより編集委員

- 委員長 高木 直良
- 副委員長 前原 孝植
- 委員 齊藤 うめ子
- 委員 木下 裕三

先日、NHKの番組でQRコードは日本のエンジニアの開発であることを知った。QRとは「Quick Response Code」(クイック・レスポンス)の略で、その名の通り0.03秒という超高速で読み取り可能で、コードに格納できる情報量はバーコードのおよそ200倍、数字なら最大7089文字、英数記号や漢字も格納することが可能とのこと。開発のヒントは囲碁の白黒の石の並べ方にあったことやこの発明で特許をとらなかつたことに驚いた。この議会だよりにもQRを記載し、議会動画につなげていく。ぜひ、視聴願いたい。(高木直良)